



5.重要な仕事は男性が担当することが多いと 思う割合が少し増えた

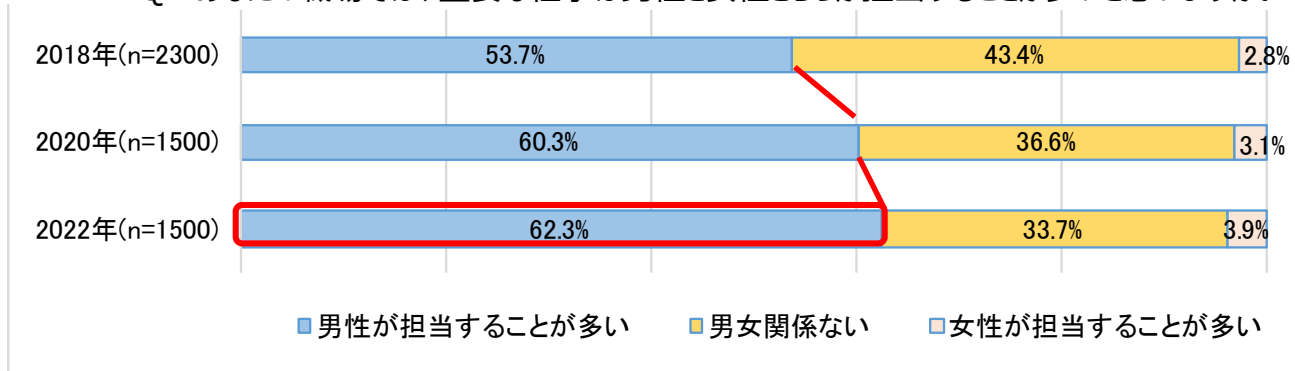
301人以上規模の企業の女性において、重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合が高くなった



- 301人以上の企業規模の女性について、2018年、2020年と比較すると、重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合が高くなっている。総合職・エリア総合職女性についても、同様である。

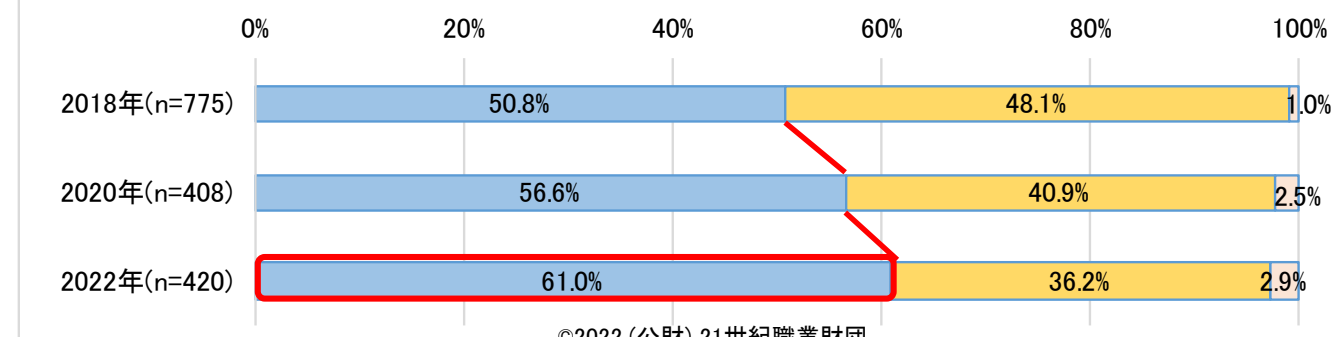
【301人以上企業 女性 2018年、2020年との比較】

Q4.あなたの職場では、重要な仕事は男性と女性どちらが担当することが多いと思いますか。



*電気・ガス・熱供給・水道業を除くと2022年の「男性が担当することが多い」割合は62.0%

【301人以上企業 総合職・エリア総合職女性 2018年、2020年との比較】



*電気・ガス・熱供給・水道業を除くと2022年の「男性が担当することが多い」割合は60.1%

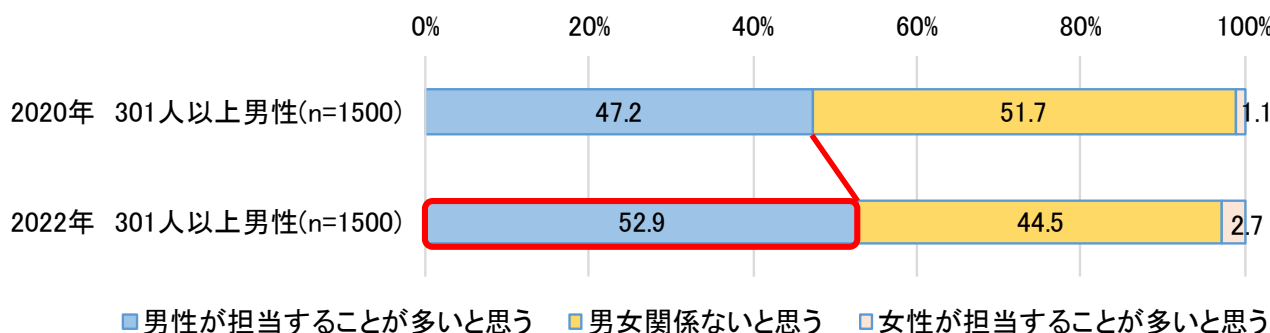
301人以上規模の企業の男性において、 重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合が高くなった



- 301人以上の企業規模の男性について、2020年と比較すると、重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合が高くなっている。総合職・エリア総合職男性についても、同様である。

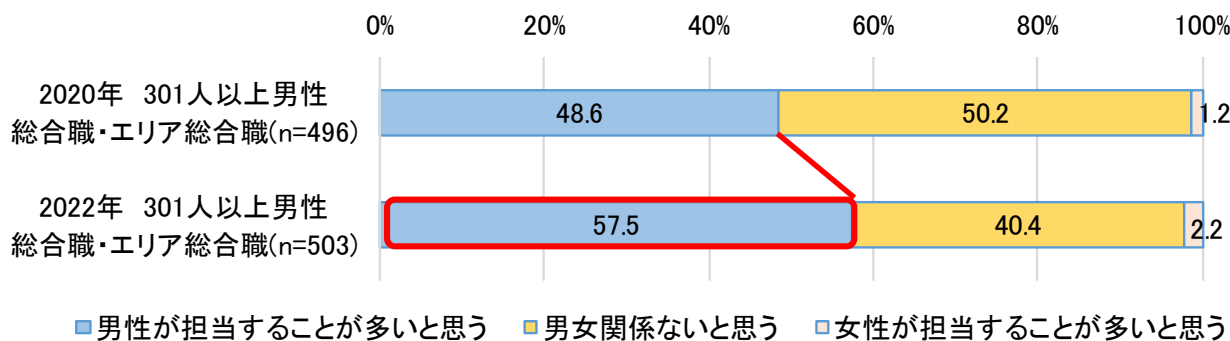
【301人以上企業 男性 2020年との比較】

Q4.あなたの職場では、重要な仕事は男性と女性どちらが担当することが多いと思いますか。



*電気・ガス・熱供給・水道業を除くと2022年の「男性が担当することが多い」割合は52.4%

【301人以上企業 総合職・エリア総合職 男性 2020年との比較】



*電気・ガス・熱供給・水道業を除くと2022年の「男性が担当することが多い」割合は56.7%

女性 企業規模別

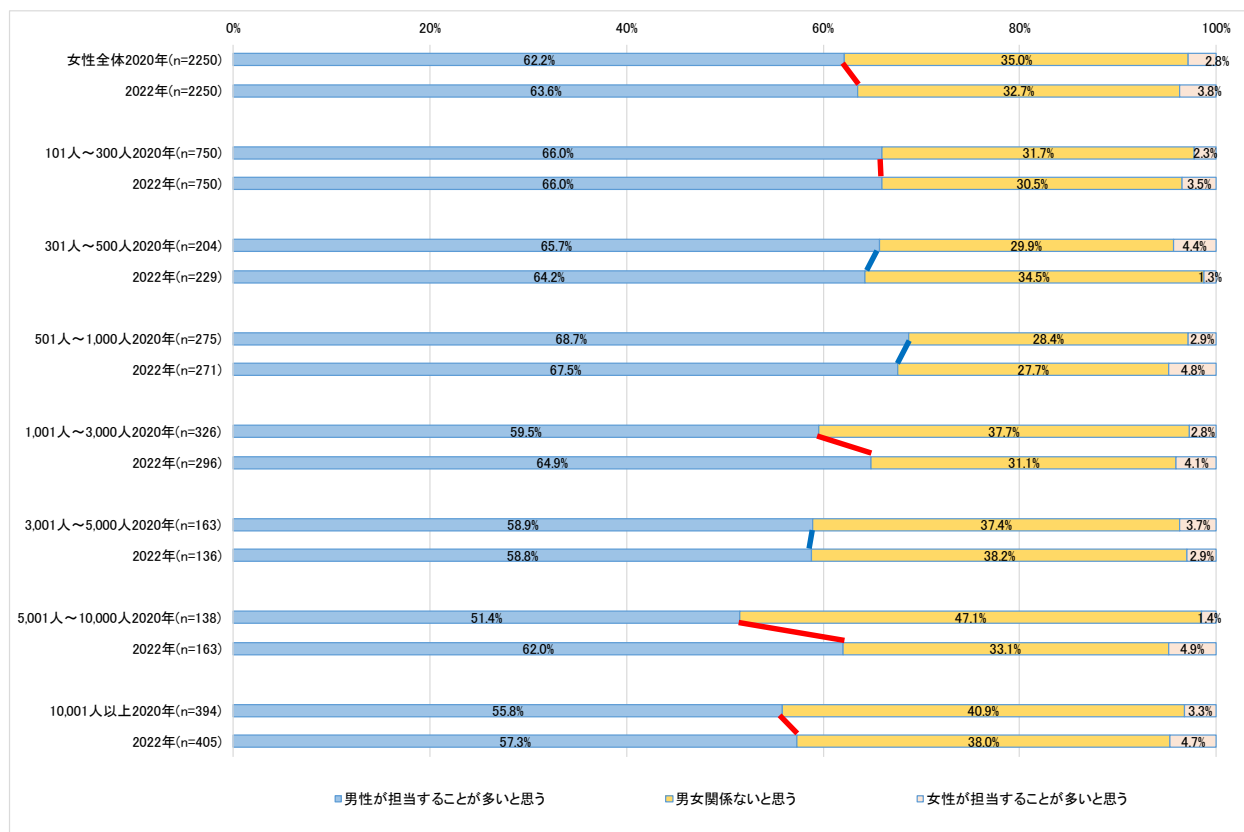
重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合の2年前との比較



- 女性について、企業規模別に2年前と比較すると、1,001～3,000人企業と5,001～10,000人企業で、「男性が担当することが多い」と思う割合が5ポイント以上高くなっている。

【女性：企業規模別 2年前との比較】

Q4.あなたの職場では、重要な仕事は男性と女性どちらが担当することが多いと思いますか。



*2022年のデータには、電気・ガス・熱供給・水道業を入れている。

男性 企業規模別

重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合の2年前との比較



- 男性について、企業規模別に2年前と比較すると、どの企業規模においても、「男性が担当することが多い」と思う割合が高くなっている。

【男性：企業規模別 2年前との比較】

Q4.あなたの職場では、重要な仕事は男性と女性どちらが担当することが多いと思いますか。

	(n)	男性が担当することが多いと思う	男女関係ないと思う	女性が担当することが多いと思う	(%)
男性101~300人 2020年	(750)	47.9	50.3	1.9	
2022年	(750)	56.9	40.1	2.9	
男性301~500人 2020年	(183)	51.9	48.1	0.0	
2022年	(213)	52.6	43.2	4.2	
男性501~1,000人 2020年	(268)	45.5	54.5	2.2	
2022年	(252)	56.3	41.7	2.0	
男性1,001~3,000人 2020年	(381)	46.2	53.8	1.3	
2022年	(332)	55.7	42.8	1.5	
男性3,001~5,000人 2020年	(139)	46.8	53.2	0.7	
2022年	(162)	53.1	46.9	4.3	
男性5,001~10,000人 2020年	(195)	48.7	51.3	0.5	
2022年	(178)	52.2	47.8	1.1	
男性10,001人以上 2020年	(334)	46.4	53.6	1.2	
2022年	(363)	48.2	51.8	3.3	

*2022年のデータには、電気・ガス・熱供給・水道業を入れている。

301人以上企業 女性 業種別

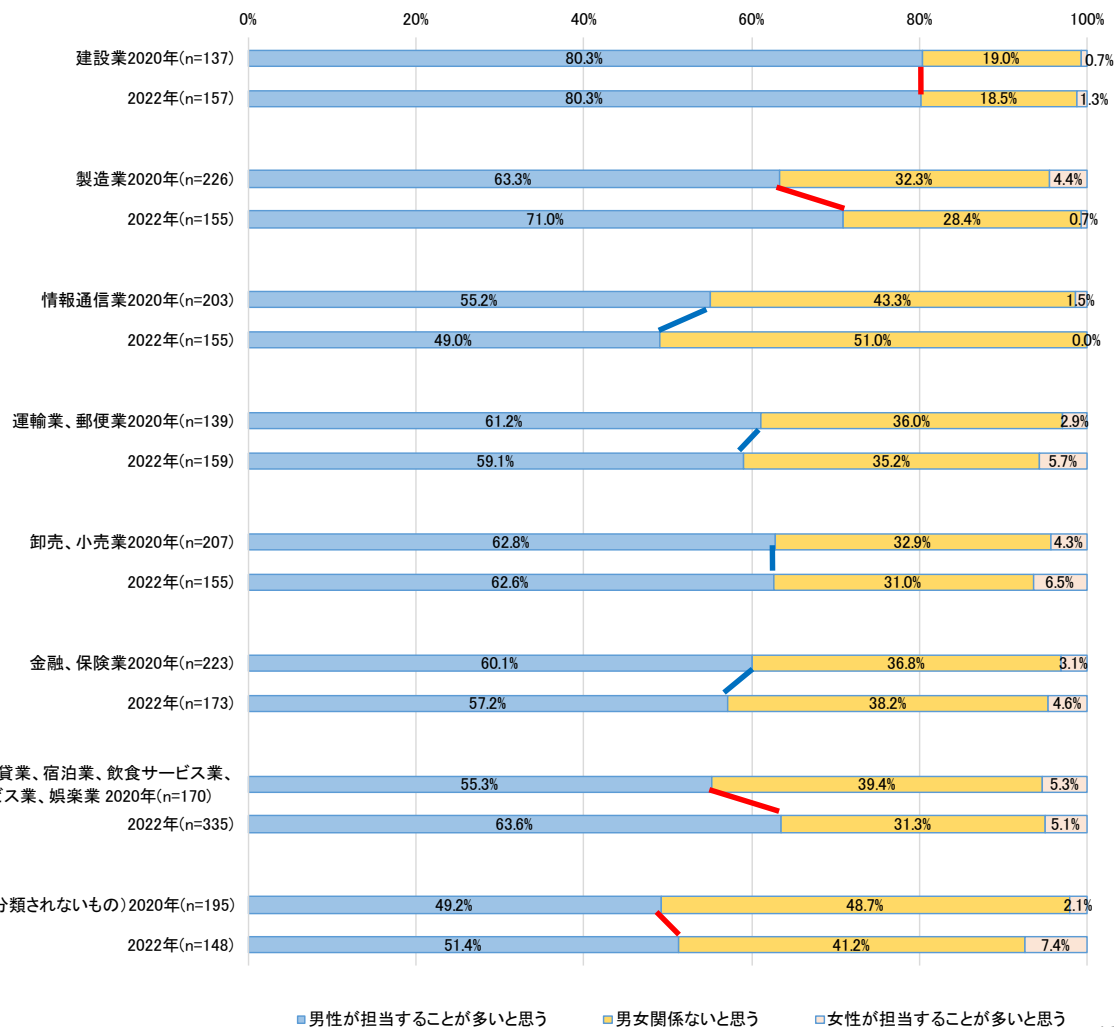
重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合の2年前との比較



- 重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合は、301人以上企業の女性について、業種別に2年前と比較すると、製造業と不動産業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業等で、5ポイント以上高くなっている。
- 2022年業種別で、重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合が最も高いのは建設業で80.3%で、最も低いのは情報通信業で49.0%である。

【 301人以上企業 女性：業種別 2年前との比較】

Q4.あなたの職場では、重要な仕事は男性と女性どちらが担当することが多いと思いますか。



301人以上企業 男性 業種別

重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合の2年前との比較



- 重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合は、301人以上企業の男性について、業種別に2か年比較すると、建設業、製造業、運輸業・郵便業で5ポイント以上高くなっている。
- 2022年業種別で、重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合が最も高いのは建設業で69.4%で、最も低いのは情報通信業で31.3%である。

【301人以上企業 男性：業種別 2年前との比較】

Q4.あなたの職場では、重要な仕事は男性と女性どちらが担当することが多いと思いますか。

	(n)	男性が担当することが多いと思う			男女関係ないと思う			女性が担当することが多いと思う		
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
男性 301人以上 建設業 2020年	(122)	51.6				47.5		0.8		
2022年	(144)	69.4				28.5		2.1		
男性 301人以上 製造業 2020年	(233)	49.8				48.9		1.3		
2022年	(149)	59.7						2.0		
男性301人以上 情報通信業 2020年	(211)	32.7				66.8		0.5		
2022年	(144)	31.3				65.3		3.5		
男性301人以上 運輸業、郵便業 2020年	(228)	50.0				49.6		0.4		
2022年	(143)	59.4						2.1		
男性301人以上 卸売・小売業 2020年	(207)	55.1				44.0		1.0		
2022年	(143)	53.8				44.1		2.1		
男性301人以上 金融業・保険業 2020年	(166)	48.2						1.2		
2022年	(166)	50.6				48.2		1.2		
男性301人以上 不動産業、物品賃貸業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業 2020年	(108)	50.9				44.4		4.6		
2022年	(323)	50.5				45.2		4.3		
男性301人以上 サービス業(他に分類されないもの) 2020年	(225)	43.1				56.0		0.9		
2022年	(146)	47.3				48.6		4.1		

101～300人企業 女性 業種別

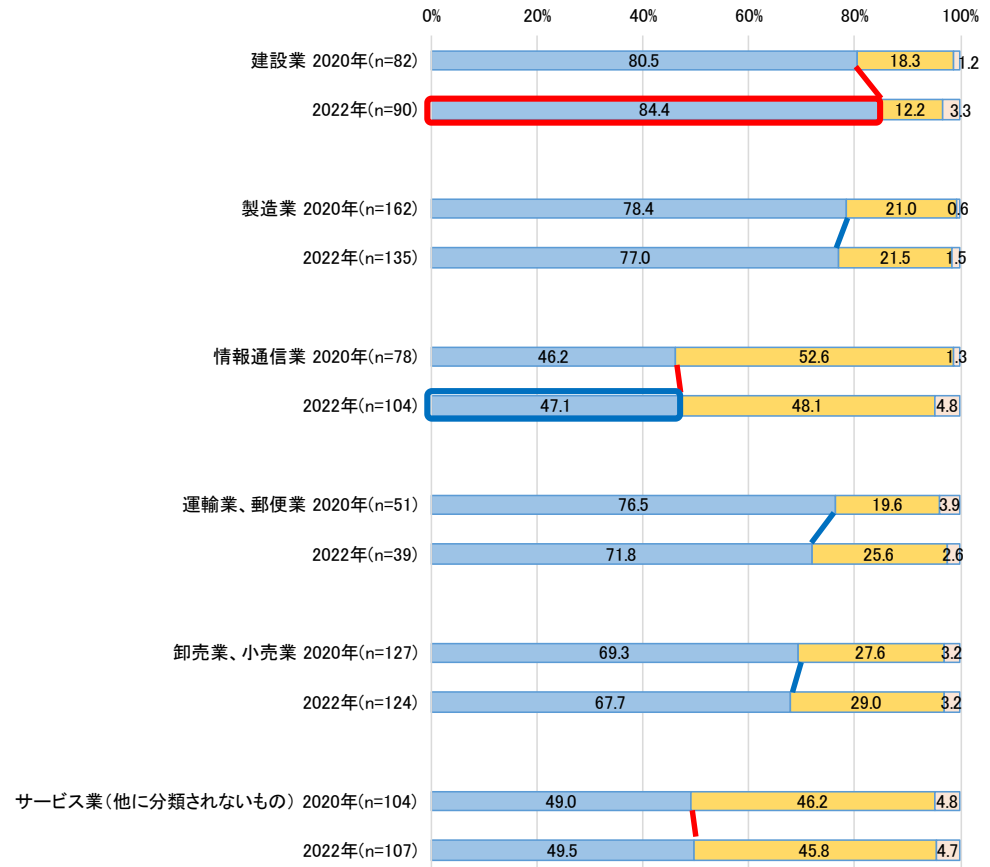
重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合の2年前との比較



【101～300人企業 女性：業種別 2年前との比較】

Q4.あなたの職場では、重要な仕事は男性と女性どちらが担当することが多いと思いますか。

- 重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合は、101～300人企業の女性について、業種別に2年前と比較すると、建設業で、やや高くなっており、2022年業種別でも最も高く 84.4%である。
- 2022年業種別で、重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合が最も低いのは、情報通信業で 47.1%である。



■ 男性が担当することが多いと思う ■ 男女関係ないと思う ■ 女性が担当することが多いと思う
* サンプル数が少ない業種は除いている。

101～300人企業 男性 業種別

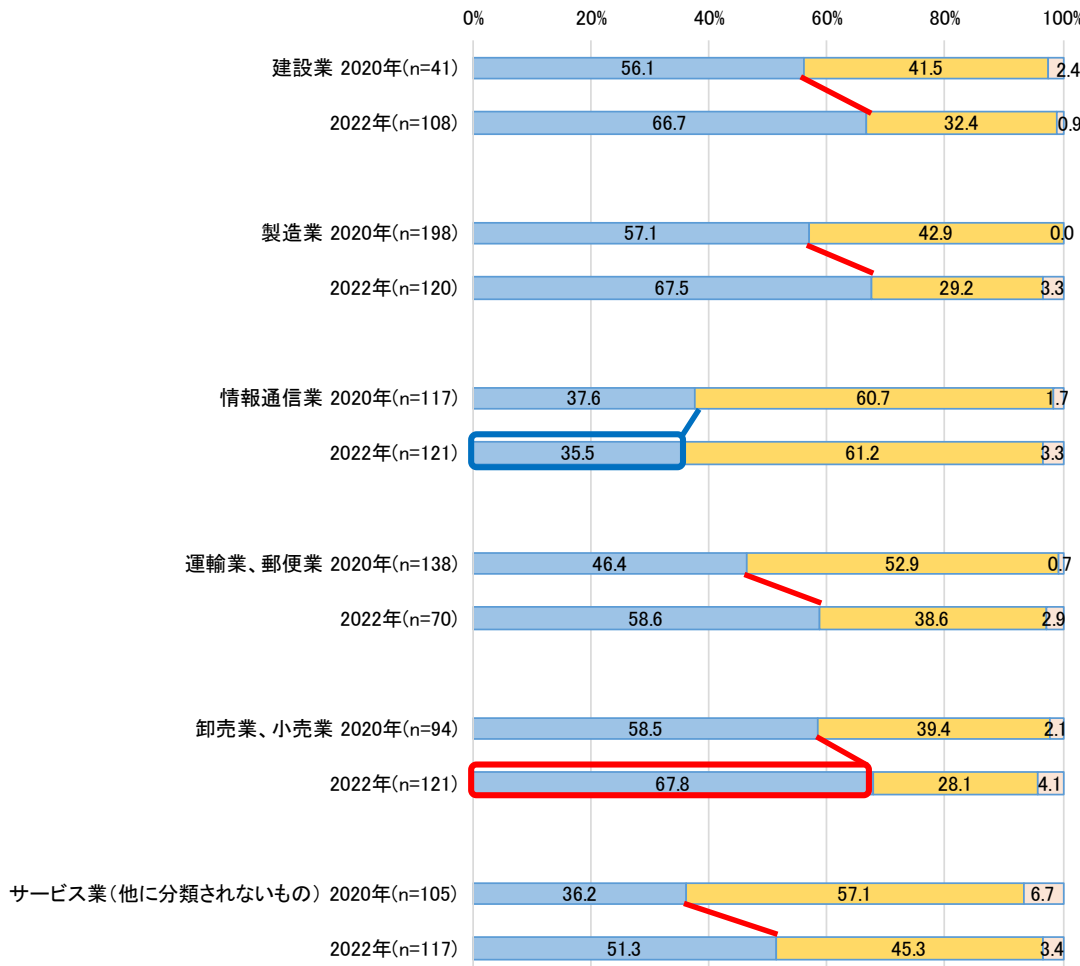
重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合の2年前との比較



- 重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合は、101～300人企業の男性について、業種別に2年前と比較すると、建設業、製造業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、サービス業で5ポイント以上高くなっている。
- 2022年業種別で、重要な仕事は「男性が担当することが多い」と思う割合が最も高いのは卸売・小売業で67.8%で、最も低いのは情報通信業で35.5%である。

【101～300人企業 男性：業種別 2年前との比較】

Q4.あなたの職場では、重要な仕事は男性と女性どちらが担当することが多いと思いますか。



■男性が担当することが多いと思う ■男女関係ないと思う ■女性が担当することが多いと思う

どちらかと言えば就業継続しやすい雰囲気がある職場で、「重要な仕事は男性が担当することが多い」と認識している女性の割合が2年前より高まっている

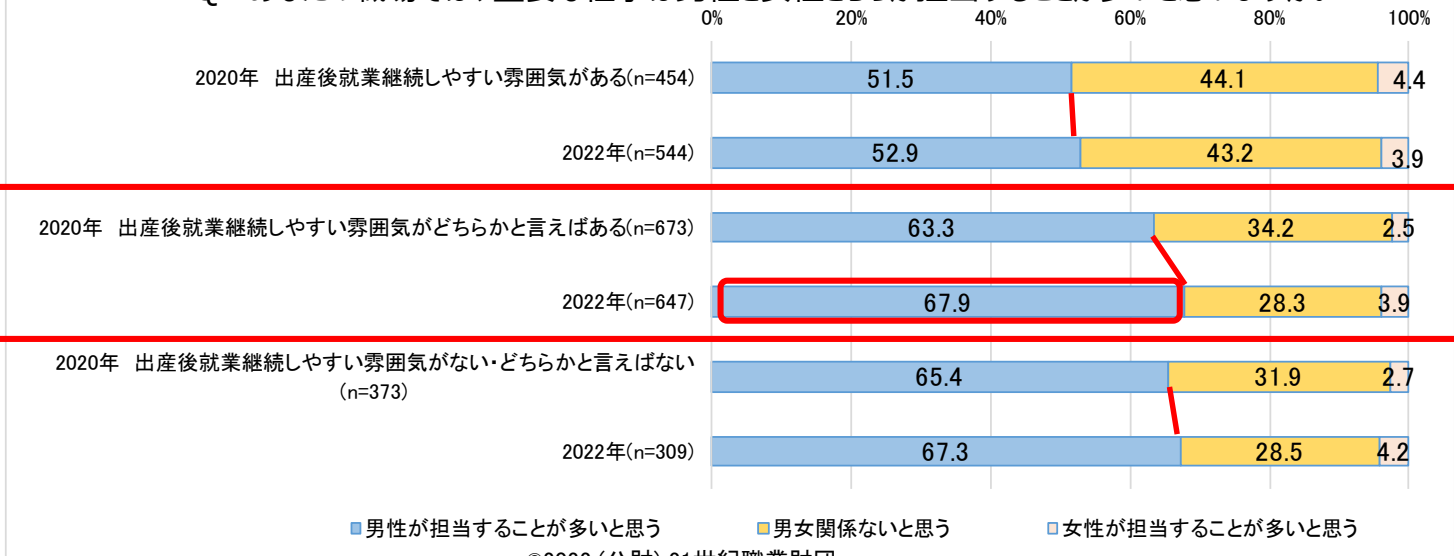


- 「重要な仕事は男性が担当することが多い」と思う割合が高まっている理由を考察するために、301人以上の企業の女性について、出産後の就業継続のしやすさ別に2020年と比較すると、出産後就業継続しやすい雰囲気が「ある」「ない・どちらかと言えない」場合においては、「重要な仕事は男性が担当することが多い」と思う割合はあまり変化がないが、出産後就業継続しやすい雰囲気が「どちらかと言えばある」場合においては、「重要な仕事は男性が担当することが多い」と思う割合は4.6ポイント増えている。
- 重要な仕事を担当することで、より成長を実感する。出産後の就業継続がようやくしやすくなってきた職場で、重要な仕事を男性が担当することが多い、という回答は増加する傾向で、上司による仕事の配分においてはダイバーシティの広がりにはまだ対応できていない組織が多いと思われる。

【301人以上企業 女性：出産後の就業継続しやすさ別 2年前との比較】

Q4.あなたの職場では、重要な仕事は男性と女性どちらが担当することが多いと思いますか。

Q3
うあ
霧して
囲も
気働
がき
あり続
がけ
りまは
すの
か。が
女性
然は
とい出
産



女性活躍推進の取組みが積極的に行われている場合、 重要な仕事を「男女関係なく」担当することが多いと思う割合が高い



- 301人以上企業の総合職・エリア総合職女性において、女性活躍推進の取組みが「積極的に行われている」場合、重要な仕事を「男女関係なく」担当することが多いと思う割合が高く、48.9%である。
- 一方、女性活躍推進の取組みが「行われていない」「あまり行われていない」と、「男性が担当することが多い」という回答割合が76.6%と高い。
- しかし、女性活躍推進の取組みが「積極的に行われている」場合であっても、「男女関係ない」という回答割合が48.9%と半数に満たないため、女性活躍推進の取組み内容の見直しが必要な企業も多いと言える。

【301人以上企業 総合職・エリア総合職女性：女性活躍推進の取組み別】 重要な仕事の与え方

Q4.あなたの職場では、重要な仕事は男性と女性どちらが担当することが多いと思いますか。

Q2
か。女性あなた
が性活の
行わ躍の
われ推会社
れて進社
ていのは
ます取組
ず

